

消防団だより

VoL.6



戸田市消防団

令和6年10月発行

消防団長あいさつ



第24代消防団長
宇津野 昌利

平素から、本市の消防行政推進に、多大なるご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和6年4月から消防団長に就任し、大変身の引き締まる思いと重責を感じております。

我々消防団は、地域防災の要として、自らのまちは自ら守るという郷土愛精神で日々活動しております。

さて、近年では、気候変動の影響等により、台風やゲリラ豪雨等の水害が多く発生しており、本市においても、道路冠水等の被害が多く見受けられます。このような状況を踏まえ「災害発生時に即時に対応できる消防団」を目指し、日々訓練に励んでおります。

これからも、消防団活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年中戸田市火災発生件数及び消防団出場状況

(令和5年12月31日現在)

火災総件数	建物火災	車両火災	その他火災	出場分団数	出動団員数
27件	15件	2件	10件	3団	14人

令和5年度中消防団活動状況

(令和6年3月31日現在)

種別	出動	訓練	警戒
回数	4回	59回	28回
延べ人員	80人	599人	746人

あなたの熱意がまちを守る！ 消防団員の活動を紹介します



消防団は、地域の有志の方々によって組織された防災ボランティアです。いざという時に自分たちの大切な人やまちを守るために活躍する、消防団の活動を紹介します。

問い合わせ 消防本部 総務課 420-2124

「消防団」とは？

市町村の非常備の消防機関で、本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員です。「自らの地域は自ら守る」という精神に基づき活動を行っています。

令和5年度に入団した、新人団員に入団の経緯や普段の活動についてインタビューしました！



第5分団
しまね 嶋根 妃夏 団員

中学1年生から6年間少年少女消防クラブで活動し、「地域の方にもっと防火・防災知識を広めたい、今後も消防に携わっていきたい」と思い、消防団に入団しました。主に消化活動の補助や防災訓練などに携わっています。日中は大学の授業がありますが、消防団の訓練は土日や平日の夜に行うので、学業との両立は問題ありません。

災害時の対応方法などの訓練を行うことで、今まで知らなかった消防の知識を得ることができるのがとてもためになります。また、小さな子供たちやお

年寄りに防火・防災知識をわかりやすく教えることができ、とても嬉しく、やりがいを感じています。

消防団ときくと「体力がないし、いざとなったら出動しなきゃ…付いていけるかしら…」と不安に思うかもしれませんが、もちろん、訓練には危険が伴うこともあると思います。しかし、自ら楽しんで行うことが大切です。一緒に消防団の一員として活動しましょう！



消化活動や救助活動
だけでなく、
消防団ではこんな
活動をしています！



消防出初式



消防ファミリーデー



夜間広報

入団に関するQ&A

- Q 入団資格はありますか？
- A 18歳以上の市内在住・在勤者であれば男女問わず入団できます。
- Q 待遇は？
- A 年額報酬や出勤報酬の支給があります。
- Q どこに配属されるの？
- A 基本団は受け持ち区域があり、原則は住んでいる区域の消防団に配属となります。機能別消防団員は、受け持ち区域はなく、市内全域で活動します。
- Q 入団するにはどうしたらいい？
- A 消防本部総務課にご連絡ください。消防団の活動内容や入団に必要な手続きなどを説明します。

入団までの流れ



令和5年度の主な活動

救急救命講習の指導（4月）



機能別消防団員が、埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校にて、救命講習（心肺蘇生法、AEDの使用方法等）の指導を行いました。

新規入団団員に対する研修（5月）



消防団員としての職責を自覚するとともに、基礎知識の習得及び活動技術の向上を目的に研修を実施しました。

組織制度や訓練礼式、予防知識（消火器、住宅用火災警報器）、救急知識（普通救命講習）等について学びました。

可搬ポンプ及び救命ボート取扱訓練（6月）



出水期を迎えるにあたり、資器材を円滑に使用できるよう可搬ポンプ及び救命ボートの取扱訓練を実施しました。

可搬ポンプは、震災時の火災発生の際に、消火活動や水害発生時の排水作業等に用いることができます。

また、救命ボートは水害により道路等が冠水した際の救出方法として用いられます。

令和5年度の主な活動

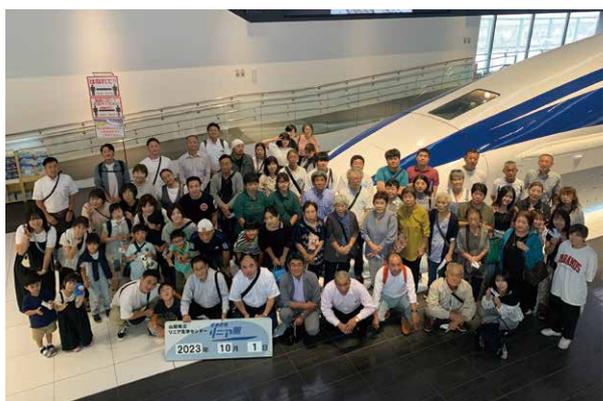
第7分団車両納車（10月）



今回納車した車両は、戸田市消防団では初めての普通免許で運転できる車両となります。

本車両を用いて、令和6年7月27日の第34回埼玉県消防操法大会に出場しました。

消防団員家族交流会（10月）



消防団の円滑な運営と消防団員の処遇改善を図ることを目的に、消防団員家族交流会を実施しました。

山梨県へ行き、山梨県立リニア見学センターを見学した後、シャインマスカット狩りをしました。

秋季火災予防運動出発式（11月）



秋季火災予防運動に伴い、出発式を行いました。

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止することを目的に、11月9日から15日までの間、消防団車両にて夜間広報を実施しました。

令和5年度の主な活動

機関員訓練（1月）



各分団の新たな機関員の担い手を養成することを目的に、機関員訓練を実施しました。緊急走行時の留意点等に関する座学や車両方向変換、車両後退要領、警戒区域の設定等の実技訓練を実施しました。

文化財保護訓練（1月）



上戸田氷川神社にて、火災発生時に文化財を保護することや、消防本部との連携強化を目的に訓練を実施しました。

戸田市消防・防災フェア（3月）



市民の防火防災意識高揚を目的に、市危機管理防災課と共催で、戸田市消防・防災フェアを開催しました。

消防車両乗車体験やAED体験等のブースを運営しました。

令和5年度に表彰された皆様

消防庁長官表彰 永年勤続功労章（令和6年3月4日受章）

第6分団	分団長	長谷川	浩	一
第7分団	分団長	松本	正美	
第2分団	副分団長	駒崎	伸二	
第7分団	副分団長	水村	淳一	

日本消防協会表彰（令和6年3月8日受章）

精績章	第7分団	分団長	松本	正美
勤続章	第2分団	部長	小山	正幸
	第1分団	班長	永井	克己
	第4分団	班長	木下	勲

埼玉県消防協会表彰（令和5年10月21日受章）

1等功労章	第4分団	団員	池田	佳弘
	第5分団	団員	新井	大輔
2等功労章	第4分団	団員	生沼	吉規
3等功労章	第2分団	団員	梅田	雅教
	第3分団	団員	窪田	力也
	第7分団	団員	武笠	誠一郎
機関技能章	第1分団	団員	永井	公策
	第3分団	団員	田口	学

埼玉県消防協会蕨戸田支部長表彰（令和5年11月12日受賞）

功労賞	第3分団	団員	梅田	伸一
	第6分団	団員	野村	章太

一番身近なボランティア

まちを守る



消防団員募集



問い合わせ

入団に関する詳しい情報は

戸田市消防団 検索

戸田市消防団
TODA VOLUNTEER FIRE CORPS

